



家づくりのお宅訪問
interview with new home!

小さくて美しい住まいには
家づくりの本質が凝縮。



リビングのドアは造作。アンティークガラスを組み合わせてオリジナルでデザインしたもの

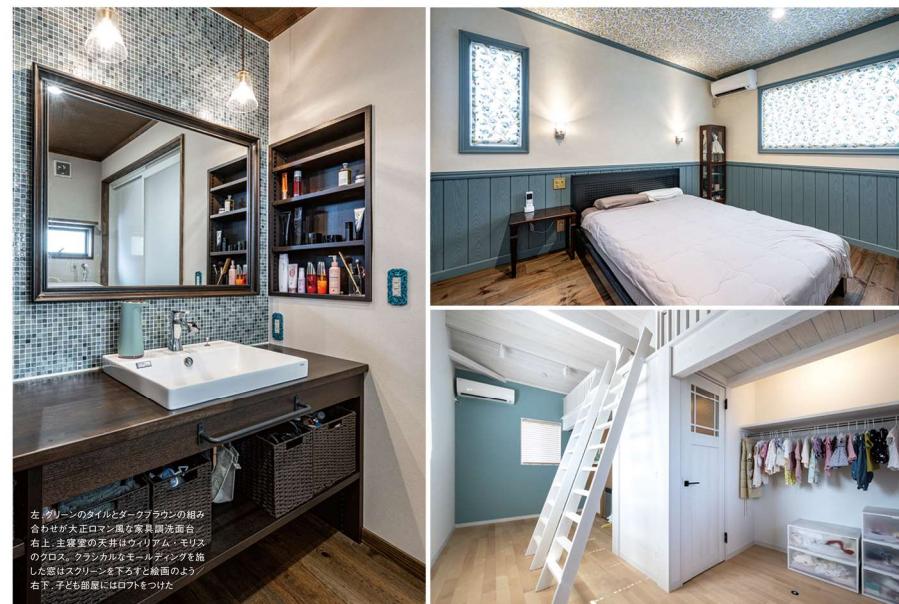
Company Profile

株式会社 ハウスランド社
吉木事務所

福岡県筑紫野市大字吉木344-1
TEL 092-922-8771
<https://www.h-land.jp>

●詳しい情報はP00に掲載

コンパクトでも吹抜けがあると開放感が生まれ、吹抜けがあるって断然住み心地が高くなります。もちろん、効率よく過去には、もうちょっと性能を上げようがよかつたのかなと思ったこともある」。そうなんですが、実際に住んでみて、密もサッシンも断熱材も、これまで通りの性能を発揮したと確認できた。「リビングの窓は大きめ」とこだわらなかったのが大きな特徴だ。家事や子育てがしやすい動線や収納など、自分が住んでみて実感したことなどを、これからのお問い合わせにも生かしていくたいと思います」。



左: クリーンのタイルとダークフランの組み合わせが大正ロマン風な家具調洗面台
右上: 主寝室の天井はウッドアム・モザイクのクロス。クラシカルなモールディングを施した窓はスクリーンを下ろすと繪面のよう
右下: 子ども部屋にはロフトをついた

自社で建てたのだから、てっきり大きな社員割引があるので、だらうと思いや「意外と社長がシンプルで笑いちゃんと予算内に収まるよういろいろと工夫しているんですね」と葵さん。1階部分は床や壁の素材から家具や建具の制作までこだわりぬいた一方、2階の子ども部屋は既製品の建具やリーズナブルな床材を使うなど、コストのコントロールもかかりない。

「家って、床面積が広くなるほどお客さまの要望は叶うんですね。でも、予算もあるので、むやみに大きくすればいいというものではありません。建物を小さく抑えれば、素材や設備にこだわる余裕も生まれます。子育て世代のお客さまの家づくりが割と得意度。私は小さな床面積をできるだけ居住空間にしたいと考え、廊下やホールは極力小さくすく間取りを提案するようになります。小さいけれど、美しい家で本当に満足しています」と言っていましたが、実際に自分が暮らしてみて、十分満足できました」と自信がもてました)。



主寝室のドアのステンドグラスは、結婚式を挙げたハワイのチャペルをモチーフにつくってもらったもの



カウンターは無垢の一枚板、鏡はイタリア製のアンティーク。真鍮の水栓やタオルホルダーがレトロな雰囲気を醸し出す